機能検査

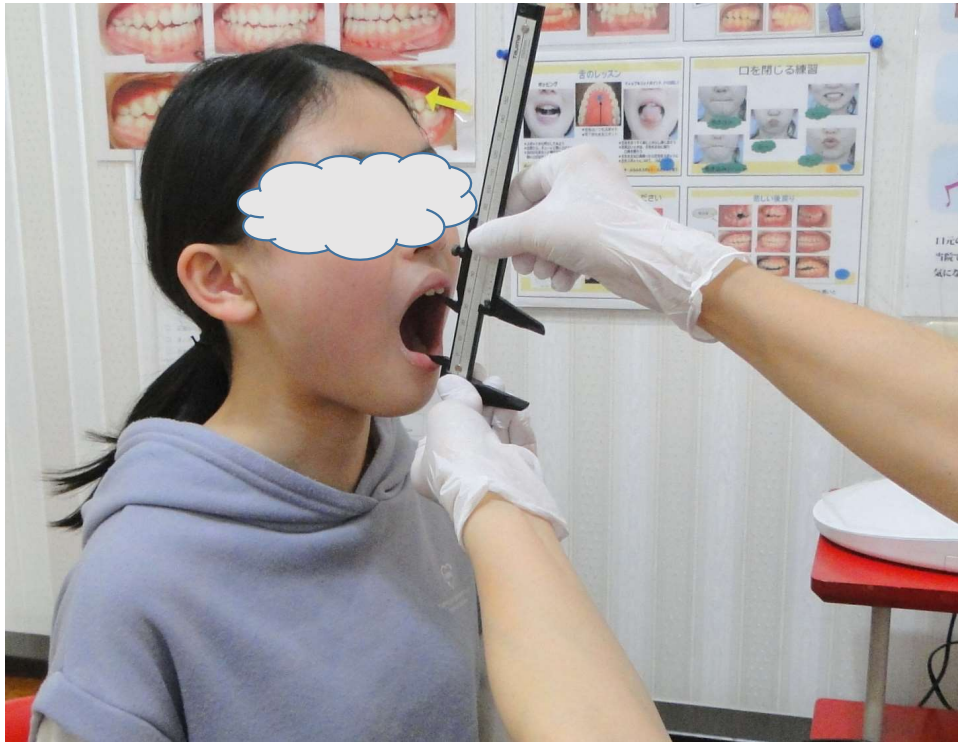
舌小帯測定

舌小帯は、発音、咀嚼、嚥下時に舌が動きます。

ある程度の長さが必要で、当院では、20～25mm以内が基準値です。

また付いている位置に異常がないか確認し、異常がある場合は切除手術を実施する場合があります。

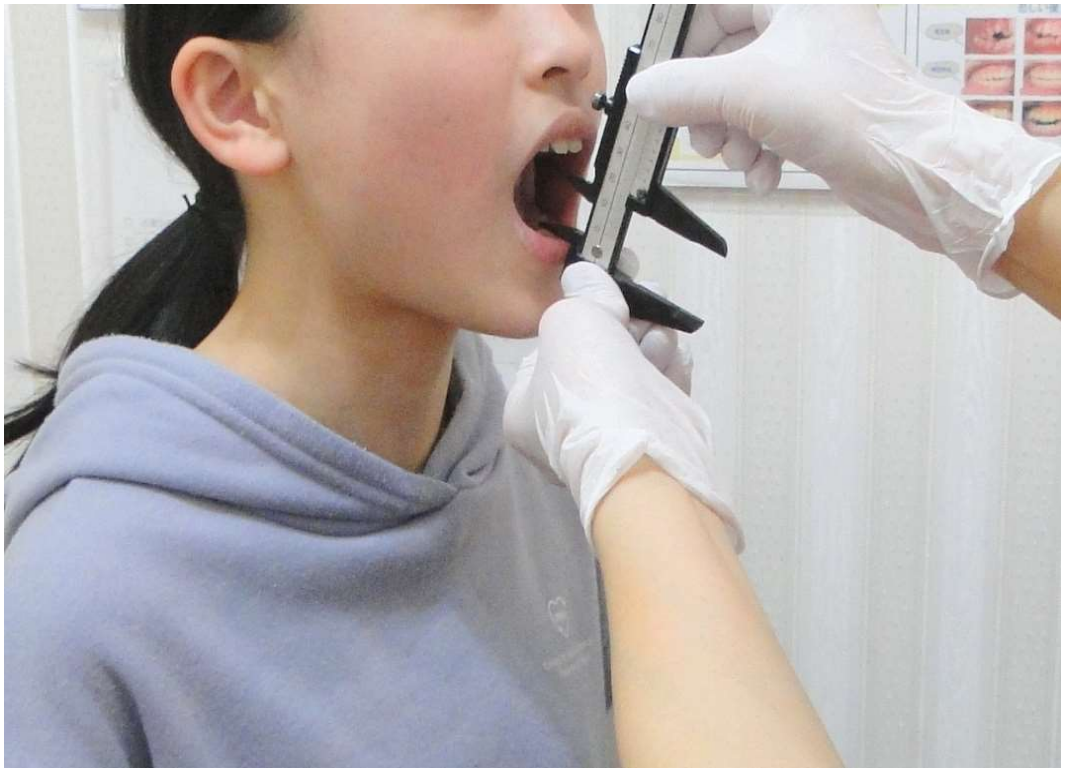
最大開口量



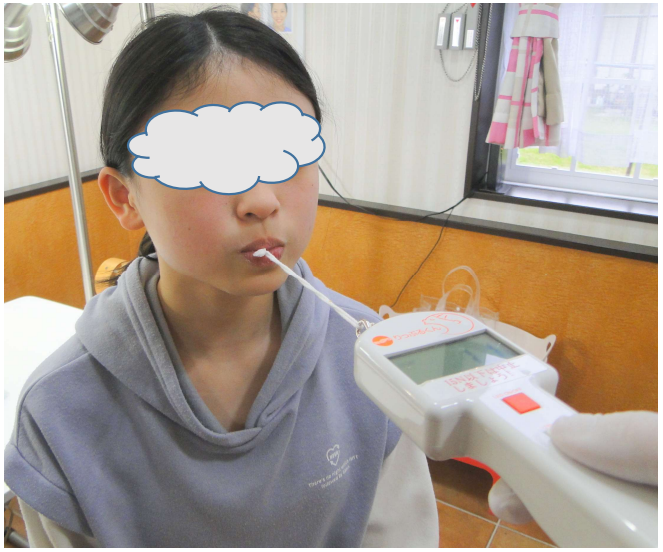
顎関節に異常がないか、または咀嚼・発音時に顎の動く範囲が正常かどうか測定します。

吸い上げ開口量

舌を正しい位置につけて、関節や舌小帯に問題がなく口を開けることができるか調べます。



口唇力測定

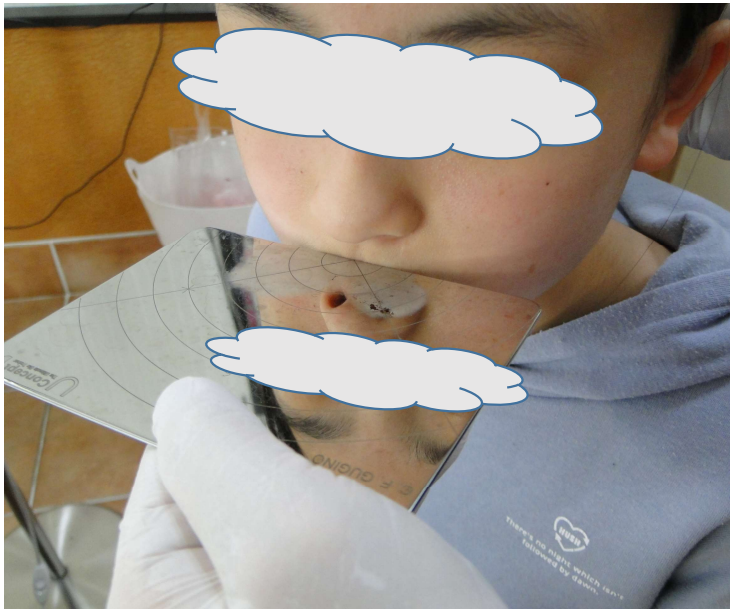


口まわりの筋肉の力や口を閉じる力を測定します。

松風

NASOMETER（鼻呼気量測定）

鼻でする呼吸の量がどのくらいか調べます。



JM　ortho

舌圧測定/舌尖測定(当院一部考案)

舌圧測定…舌を上の顎に押し上げる力がどのくらいあるか測定します。

舌尖測定…舌の先の力を測定します。
（食べ物を飲み込む力、正しい舌の位置につける力）

JMS

咬合力測定器（オクルーザルフォースメータ）

奥歯で噛む力がどのくらいあるかを測定します。

長野計器

パタカテスト

アズワン
竹井機器工業

口唇や舌の動きの速度やリズムを評価します。

握力測定

N-FORCE

握力を測定することで、噛む、身体のバランスの偏りなど
日常生活の癖などもわかります。

AGES　検査

別名糖化老化と言います。
食事などから摂った余分な糖質が、体内のたんぱく質などと結びついて、体内の細胞を劣化させているかどうか調べます。

咀嚼能力測定

咀嚼能力検査装置

GLUCO SENSOR GS-Ⅱ

グルコセンサー GS-Ⅱ

グルコース含有グミ「グルコラム」を20秒間咀嚼後、吐き出したろ液をセンサーチップに点着することにより、約6秒間で自動的にグルコース濃度が計測され表示、咀嚼能力を簡単に測定し数値化します。患者さんがどれくらい物を噛めているかを、患者さん・歯科スタッフで共有し、診療に役立てていただけます。

20秒間 咀嚼 → 6秒で 測定

検査の手順

GC

どれくらい食べ物を噛みくだく能力があるか調べます。

パルスオキシメーター　測定

一定の時間に心臓が拍動する回数と、酸素を肺にどの程度送り込めているか調べます。

オムロン

血圧測定

心臓が血液を送り出す際に血管内にかかる圧力を測ります。

唾液アミラーゼ検査

唾液を採取し、身体のストレス状態を検査します。

ニプロ

動画撮影

座っている姿勢
横向き姿勢
呼吸
表情
発音
食べる・飲み込む

を撮影